

Desert Wind (No.23)

Las Vegas Japanese Community Church

OCTOBER 2008

『わたしは荒野に道を設け、さばくに川を流れさせる』(イザヤ 43:19)

編集：平山未樹

『あなたには希望がある』(マルコ5:25-34)

LVJCC 牧師：鶴田健次

あるクリスチャンの老婦人が、救われた喜びに満たされて、神様の傍でお仕えしたいので神様の住所を教えてくださいと、牧師のところに来て来ました。そこで、その牧師は、老婦人に向かって、「イエス様が神様の住所です。あなたが熱心に祈り求めれば、イエス様の方から、あなたのところに来て下さいます。」と答えました。あなたが熱心に祈り求めるなら、イエス様の方から、あなたのところに来て下さる。今日のお話は、そういう経験をした一人の女性の物語です。

この女性は、12年間も長血をわずらって苦しんでいた女性です。12年もの間、それこそ、言いようもない苦しみの中で生きていた人です。彼女は、多くの医者に見てもらいましたが、少しも良ならず、ついには自分の全財産まで使い果たしてしまい、病気が返って悪くなる一方でした。そればかりか、イスラエルでは長血を患うという病気が宗教的に汚れているとみなされていたので、人前にも出ることができません。つまり、彼女は肉体的な苦しみばかりか、経済的、精神的、霊的にも苦しみの中にいたということです。まさに絶望の中での12年でした。

ところが、ある日のこと、彼女に嬉しい知らせが届きます。それは、イエス・キリストがこのガリラヤに来られたというニュースでした。彼女はその事を聞き、

心の中に「希望」の光が差し込んできました。らい病を癒し、足なえを立たせ、死んだ者をも生き返らせるのなら、必ず自分の長血を癒せる筈だ。そうすれば、全く新しい生活を始めることができる。そんな思いに満たされました。そう思いをめぐらしていると、急に周りが騒がしくなり、イエス様が近くに来てらっしゃるのが分かりました。そこで彼女は急いで群衆をかき分けてイエス様のところにたどり着き、後ろからイエス様の衣にさわると、突然その長血が癒された、というお話です。

まず、ここから教えられる事は、「信仰はキリストを呼ぶ」ということです。この女性は「せめて、み衣にでもさわれば、直していただける」と思っていました。癒された後で、イエス様が彼女に、「あなたの信仰があなたを救ったのです」と言われたように、彼女には信仰があったことが解かります。聖書には、いろいろな人々が癒しを求めてイエス様のところに来て、その信仰のゆえに、癒しの恵みをいただく記事が記されています。あるライ病人は、「御心であれば、きよめていただけるのですが」と言って、イエス様の前にひれ伏しました。盲人バルテマイは、「ダビデの子、イエスよ、私をあわれんでください」と何度も大声で叫びながら、イエス様の足を止めようとした。あの百人隊長は、イエス様のところに使いを送り、「お言葉をいただくだけで、しもべの病いは癒されます」と言いました。どれもが、イエス様を完全に信頼しきっている信仰者の姿です。この女性の場合は、イエス様が近くに来ておられると分かる

飛ぶように外に出て、群衆をかき分け、せめてイエス様の衣にでも触りたいという一心で進んでいきます。群衆に押され、倒れては立ち上がり、立ち上っては倒れ、それでも彼女は諦めずに進み、遂にイエス様の衣に触ることができたのです。

次に、ここから教えられる事は、「信仰は夢と希望をもたらす」ということです。イエス様が来られたら、そこに希望が与えられ、夢が与えられ、新しい道が開かれていきます。暗闇が明るくなり、悲しみが喜びに、絶望が希望に、死が命に変わります。この長血を患い、絶望の中にいた女性に一番必要だったものは「希望」でした。彼女は、イエス様を知ることによって、希望が与えられ、自分自身に対して、新しい夢を見るようになりました。人が夢を持つということは、とても良いことです。幻のない民は滅びると言われました。もし将来に夢がなければ、人は人生を台無しにし、国は衰えていきます。ですから、人は常に将来に夢を持ち、国も夢を持つ必要があるのです。

この長血を患う女性は、イエス様の福音を聞き、心の中に希望を持ちました。それ以来、彼女は寝ても覚めても、その心に夢を見たのです。自分の病気が癒されて家族のもとに帰り、家庭を立て直し、みんな一緒に食卓を囲むことができます。こんな夢を心の中に持ち始めたのです。そして、その信仰による夢がイエス様をガリラヤに引き寄せ、その夢が実現したのです。

証し

頼博恵

聖書との出会いは、高校に入学した時、ミッションスクールではありませんでしたが、週に1度の礼拝と、道徳の時間に聖書からの学びがありました。礼拝といっても、学園創設者の苦労話がほとんどで、聖書の神については、あまり語られてはいませんでした。知識としてですが、その時読んだ聖書のみ言葉は、心の底に入りこんでいたと思います。その後、中国人のお料理の先生から誘われ、中華基督教会に通うようになり、結婚して渋谷バプテスト教会に移ったのを機に洗礼を受けてクリスチャンとしての歩みをはじめました。教会生活は、ちょうど二人の子供がそれぞれ同じ年の3家族が親しくなり、とても楽しいものでした。しかし、もしそのままの生活が続いていたら、御言葉が生きて働く経験をしなかったかもしれません。

娘が生まれて3歳になった頃、夫が家族とやっていたバッティングセンターの場所にビルを建てる計画になり、その間、ビルの中に作るレストランの研究のためハワイのマウイ島に行くことになりました。そこはこれまでの生活とは全く違う環境で、まさに荒野を歩んだ時期でした。若い牧師先生の献身的な態度に、今までの都会での教会生活が覆される思いでした。

半年後に日本に帰る予定でしたが、日本でのビル建設が近隣住民の反対で手間取り、誘いを受けてロサンゼルス食品関係の会社に行くことになりました。そこは小さな会社で、自費でならグリーンカードのスポンサーにはなると言われ、クリスチャンとして違法に働きたくなかったので、手続きを始めました。息子が生まれた頃、会社の経営が思わしくなくなり、ちょうどグリーンカードの面接があと数番目というところまでできていたので、日本で面接を待つことにし、帰国しました。その間に、知り合いの方がロサンゼルス会社を買収し、再建することになったので是非来てほしいと言われ、ビル建設も進んでいないので、ロサンゼルスに行く決心をしたのですが、その頃アメリカでは、15年以上の不法滞在者に永住権を与えることになり、申し込み者が殺到し、約2年、私たちの面接は頓挫しました。もう、アメリカに行くのは御心ではないと思い、日本に残ろうとした頃、面接の通知がありました。しかし、すでに棄ててしまっている古いパスポートを出すように言われ、書類不備で帰されました。

帰ったあと、アメリカ大使館の窓口で、ガラス越しに見た人が、中学の同級生によく似ていたのが気になり、友人に聞いたところ、やはり同級生でした。電話で話しをし、自分には何もできないが、アメリカの弁護士に連絡をとるよう指示してくれました。数日後、再度呼び出しを受けて大使館に行ったところ、何も聞かれずにグリーンカードを頂くことができました。

ところが、飛行機の切符まで手配した日、知り合いから電話で、ロサンゼルス食品会社から手をひくことにしたと告げられました。もし、少し前ならやはり日本にいるのが御心だと思ったでしょう。しかしここまでして神様がアメリカに行くように導かれたなら、仕事も失いましたが行くべきだと、家を処分しロサンゼルスに向かいました。

平穏な生活の頃、遠くにいらした神様は、荒野を通過する中で、直接語ってくださる内なる主に変わっていました。御心を祈り求めた結果、日本語のキリスト教書とギフトのお店をはじめました。そのお店をはじめたことで、ジャパニーズクリスチャンネットワークの発足から理事として参加させていただき、レーナマリアさんのコンサート、「賛美の力」の著者マーリンキャロザース師の講演会など、様々な奉仕の機会に恵まれました。受けるだけのクリスチャン生活から、大勢の方に福音を伝える側に変えられていきました。信仰書を、たくさん読むことができたのも大きな恵みでした。その後、ハーベストタイムの理事もさせていただき、5年後に店を閉じてからは、ハーベストタイムで、フルタイムのスタッフとなりましたが、お店をやっていた時の経験がすべて用いられ、神様のなさることに無駄のないことを思わされました。ハーベストタイムはテレビ伝道が主軸だったので、昔日本で、日本テレビに勤めていた頃の経験まで用いられることになりました。

何ひとつ神様が地上でお与えになったもので、それがこの世に属すると思えることでも無駄ではなく、主はそれをすべて祝福に変えることのできるお方です。

主が与え、主が取られたのだ。
主の御名は讃むべきかな。(ヨブ1:20)

案内・ニュース

- ・ 去る9月21日(日)の礼拝で新井雅之兄が素晴らしい証しをして下さいました。感謝!
- ・ 去る9月27日(土)に3年間教会生活を共にされた平山未樹姉妹が転勤のためカリフォルニアへ引っ越されました。新しい地で生活が祝福されたものとなりますように。
- ・ 10月8日(水)は6:00PM~11:00PMに恒例の特別祈禱会が持たれます。祈りの教会を目指して一人でも多くの方々が集われますように。
- ・ 10月19日の礼拝後にオikos伝道のための伝道セミナーを開催します。教会員全員の参加を期待します。
- ・ 11月2日(日)の礼拝は李ヨハネ先生がメッセージの御用をして下さいます。なお鶴田牧師ご夫妻はカリフォルニアのWLAの教会でご奉仕をされます。

DREAMS COME TRUE

- ✦ 教会堂の建設
- ✦ 敬老ホームの設立
- ✦ 幼稚園の設立